

第30回「議員と語りかい」報告書

4班 (No.1)

開催日	令和元年 5月13日(月) 午後7時 ~ 8時30分		
開催場所	福山市民サービスセンター		
団体名	小廻地区自治公民館 中央地区自治公民館 大廻地区自治公民館	参加 人員	10人 (男9人:女1人)
出席議員	川窪 幸治、宮田 竜二、木野田 誠、新橋 実、植山 利博、前川原正人		
役割分担	班長(前川原正人) 副班長(新橋 実) 記録係(宮田 竜二)		
テーマ及び 具体的な内容	地域の抱える課題や行政、議会に対する様々な質問、要望について		

意見 交換 での 主な 意見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>◆浜之市の国道10号は拡幅されているが、国道220号中大廻、海添バス停間の拡幅工事が中断している。過去には大きな交通事故も発生している。工事がスムーズにできないのか。</p> <p>◇浜之市は区画整理事業なので取扱いが異なるが、平成30年度地域まちづくり事業実施計画(大廻地区)にもあげられているので、国会議員へ要望していきたい。</p> <p>◇地権者の問題があったようだが、現在の状況はどうか。</p> <p>◆地権者の範囲が広がっており、理解が得られているか不明である。</p> <p>◇国道10号浜之市の区画整理事業では1区画が霧島市の自主施工が実行されたので、その点についても確認したい。</p> <p>◆「いきいきチケット」の温泉券やバス券は有効に利用できるが、マッサージ券は福山の本地区では使えない。有効に活用できるよう検討してほしい。</p> <p>◇一般質問でも多種目的共通利用できないか提言し、行政の回答は「検討する」とのこと。</p> <p>◇霧島市内各所で問題提起されており、いきいきチケットのあり方について見直す動きがある。</p> <p>◆医師会医療センターに泌尿器科はできないのか。</p> <p>◇議会だよりに掲載しているように、霧島市立医師会医療センターの整備計画がある。診療科は泌尿器科も含め24診療科に増える計画である。</p> <p>◆春先、南西の風が吹くと桜島の灰が降るが、鹿児島市や垂水市のようなロードスウィーパーの稼働が無い。管轄が違うが、垂水市のロードスウィーパーを借用できないのか。</p> <p>◇国土交通省の管轄であるが、貸し借りができるように要請したい。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆議長、副議長はどのようにして選ばれるのか。

◇議会において、議員の選挙で選ばれる。立候補制としており、所信表明を行ったうえで選挙を実施している。また、所信表明から選挙までの過程については、ケーブルTV等で公開している。

◆中央地区（中の茶屋）は、山間部であるため救急車が通らない。（市道第1三州線）以前も拡幅をお願いしたが、再度お願いしたい。

◇平成30年度地域まちづくり事業計画にもあがっているので、産業建設委員会での現地調査を協議したい。

◆草払いは、急傾斜が多いので高齢者にはできない。市道なので行政で対応して欲しい。議員も現場を確認して欲しい。

◇霧島市全域で同じ要望があり、全ての箇所に対応できないのが実情である。

◆市道第1三州線の、入口は牧之原から中の茶屋へ入れない。出口は中の茶屋から国道220号に降りられない。入口と出口を角きりなどの方法で広げて欲しい。

◇所管委員会での現地調査を行い、対応を要請する。

◆県道福山線で、「ごみを捨てるな」の大きな看板を設置できないか。また、環境保全に対する教育は行われているのか。

◇大きな看板の効果は分からないが、どの方法が有効なのか議論が必要だと考える。

◇現状は、各地区2名の美化委員に清掃担当頂いている。

◇今後の長期的な対応として、学校教育や家庭での「躰」について教育委員会と話していきたい。

◆美化活動は統一されているのか。霧島市として分析して、市民全員参加活動など検討してはどうか。

◇企業、地域、各団体が都合に合わせて各々ボランティア清掃活動をしている状況がある。

◆大廻地区の高齢化60.7% 霧島市の少子高齢化対策はどうか。

◇高齢化そのものは悪いことではないと考える。少子化対策が20年遅れた。国も市も本気になって少子化対策を始めた。（幼児保育無償化、奨学金免除制度、産後ケア事業、etc.）

◆福山の人口が増えて欲しい。子どもが生まれたら100万円補助金を出すカンフル剤のような施策はできないか。

◇始良市の北山地区の事例（若者向け住宅助成にて43世帯増）。医療と介護と福祉を良くすれば福山の人口は増えると思う。

◇地域がリーダーを決めて主体的にならなければ活性化しないと思う。自分達が自分達の住んでいる地域づくり、交流を率先することが肝要である。始良市の北山地区も地域から盛り上がって住宅が増えた。地域で足りない部分は行政にサポートしてもらう。

意見交換での主な意見等